

A. ピアサポーター向け

<p>科目 A-2</p>	<p>不妊症・不育症に関する関連法規や支援体制</p>	<p>講師名</p> <p>向 亜紀 厚生労働省 子ども家庭局母子保健課</p> <p>米澤 宏隆 厚生労働省 保険局医療課</p> <p>鈴木 里美 厚生労働省 雇用環境・均等局</p>	<p>時間数</p>	<p>講義 30分</p>
<p>[科目目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 不妊症・不育症に関する関連法規や施策について理解できる。(母子保健課) 2. 不妊症・不育症に関する保険診療・先進医療について理解できる。(保険局) 3. 不妊症・不育症に関する支援体制(公的相談窓口)について理解できる。 (母子保健課) 4. 仕事と不妊治療とを両立するための支援について理解できる(雇均局) 5. ピアサポーターに求められる役割について理解できる。(母子保健課) 				
<p>[内容]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 不妊治療等に関する関連法規や政策方針(母子保健課)(5分) 不妊治療等に関するデータ等のご紹介 2. 不妊治療の保険診療・先進医療について(保険局)(10分) 3. 性と健康の相談センター(旧:不妊専門相談センター)、について (母子保健課)(3分) 4. 仕事と不妊治療とを両立するための厚生労働省の取り組み(雇均局)(10分) 5. 今後の方向性(母子保健課)(2分) ピアサポーターに求められる役割 				
<p>[受講される皆様へのメッセージ]</p> <p>今年度より、不妊治療が保険適用となりました。保険適用の紹介の他、現在政府として取り組んでいる、仕事の場でのサポートや、心理的サポートなどについて紹介させていただきます。患者さん一人一人に合わせた支援制度が活用されるよう、架け橋となっていただけますと幸いです。</p>				
<p>[参考図書等]</p> <p>講義の中でご紹介します。</p>				